# 使い方と記入例（保護者向け）

## 何のための記録か

- お子さんの能力を判定するためではなく、「わが家で続けられるか」を確かめるための記録です。
- 子どもの反応だけでなく、親の準備・付き添い・丸つけ・片付けの時間を残すと、教材を比べるときの材料になります。
- 無料プリント（F01・F02）や、各社の無料見本・お試し教材と組み合わせて使えます。

## 記録表の書き方

- 試した日にだけ書きます。毎日でなくて構いません。
- 「親の準備」は、印刷・教材を出す・内容を読む時間。「付き添い」はそばにいた時間です。おおよそで結構です。
- 「またやりたい？」は、子どもに聞いた答えと、親自身の気持ちを分けて書きます。

## 記入例（1行）

| | 使ったもの | 親の準備 | 付き添い | 親がした作業 | 子どもの反応 | またやりたい？ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 月 | F01 数あそび 1枚目 | 5分 | 10分 | 読み上げ〇 | 指で数えて楽しそう。4は迷った | 子:〇 親:〇 |

## くらべシートの書き方

- 候補は2〜3つに絞ります。多いほど決めにくくなります。
- 料金は「月額換算」と「支払条件」を分けて書きます。年払いの月あたり額を月払いと混ぜないでください。
- 「続けられそうか」は合計点ではなく、記録表と条件を見た上での親の判断です。〇が1つもなくても、「今は買わない」「無料で様子を見る」も結論です。

## 次に

- 教材のお試し比較（資料請求・無料見本・返金制度の違い）：/guides/free-trial/
- 教材比較（同じ基準で並べた一覧）：/compare/
- 6問で教材の候補を絞る：/finder/

この記録表は まなびほどき編集部が独自に作成したものです。記録はご家庭で保管してください。当サイトが記録を収集することはありません。